

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	ひみつの言葉を引き出そう かんがえるのって おもしろい(続けてみよう) 名前を使って、自己しょうかい 銀色の裏地 図書館を使いこなそう 春の空 きいて、きいて、きいてみよう(インタビューをするとき)
5	漢字の広場① 見立てる／言葉の意味が分かること／原因と結果
6	敬語 日常を十七音で 漢字の広場 古典の世界(一) 目的に応じて引用するとき みんなが使いやすいデザイン
7	同じ読み方の漢字 夏の夜 作家で広げるわたしたちの読書／カレーライス
9	かぼちゃのつるが われは草なり どちらを選びますか 新聞を読む 文章に説得力をもたせるには たずねびと 漢字の広場②
10	方言と共通語 秋の夕 よりよい学校生活のために(意見が対立したときには) 漢字の広場③
11	浦島太郎——「御伽草子」より 和語・漢語・外来語 固有種が教えてくれること／統計資料の読み方／グラフや表を用いて書こう カンジー博士の暗号解読 古典の世界(二) 漢字の広場④
12	やなせたかし——アンパンマンの勇気 あなたは、どう考える 冬の朝
1	好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ 熟語の読み方 漢字の広場⑤ 想像力のスイッチを入れよう 複合語
2	言葉を使い分けよう もう一つの物語
3	「子ども未来科」で何をする 漢字の広場⑥ 大造じいさんとガン 五年生をふり返って

〈授業の工夫〉	○ノート指導を徹底し、児童の書く力や日常生活に必要な国語の基礎的な事項の定着を図ります。また、単元のめあてを明確にし、導入、展開、まとめの学習の流れを意識した指導をします。 ○テストの結果だけではなく、学習過程における児童のよい点や可能性、工夫したことや
〈評価について〉	○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人々との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストやノート、少人数での提出物、授業での発言内容、作文、
〈学習方法など〉	○漢字の定着を図るため、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。 ○進んで読書ができるよう、学校図書館を活用します。週1回、朝読書の時間を設けます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

月	学 習 内 容
4	1日本の国土とわたしたちの暮らし 1世界の中の日本の国土
5	2国土の気候と地形 3自然条件と人々の暮らし
6	2未来を支える食料生産 1米作りのさかんな地域 2水産業のさかんな地域
7	3これからの食料生産
9	3未来をつくり出す工業生産 1自動車の生産にはげむ人々 2日本の工業生産と貿易・運輸
11	3日本の工業生産の今と未来
12	4未来とつながる情報 1情報を伝える人々とわたしたち
1	2くらしと産業を変える情報通信技術
2	5国土の自然とともに生きる 1自然災害とともに生きる 2森林とともに生きる
3	3環境とともに守る

〈授業の工夫〉	○ICT、視聴覚教材、資料集などを有効に活用し、自らが考えを深めていくことができるようにします。 ○学習課題とそれに対するまとめを意識させ、学習内容の定着を図ります。
〈評価について〉	○单元ごとのテストやワークシート、ノート、発表などをもとに、社会的事象に関する知識や技能、思考力、表現力が身に付いているかを評価します。 ○社会的事象に関心を持ち、地図帳や地球儀、統計などの基礎的資料を通して調べ、まとめようとする意欲を評価します。 ○社会的事象について自分なりの考えを説明したり、話し合ったりする態度を評価します。
〈学習方法など〉	○各産業と自分たちの生活との関係を身近なものとして捉えさせるために、ニュースや新聞などから様々な話題に興味をもたせます。 ○ICTや図書資料を活用して自分たちの国だけでなく外国との関わりに着目させます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする
【主体的に学習に取り組む態度】	○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を

月	学 習 内 容
4	学びのとびら 1. 整数と小数
5	2. 直方体や立方体の体積
6	3. 比例 4. 小数のかけ算 5. 小数のわり算 ★小数の倍 ★どんな計算になるのかな？ ☆おぼえているかな？
7	6. 合同な図形
9	7. 図形の角
10	8. 偶数と奇数、倍数と約数 9. 分数と小数、整数の関係 ★考える力をのばそう ☆おぼえているかな？
11	10. 分数のたし算とひき算
12	11. 平均
1	12. 単位量あたりの大きさ
2	13. 四角形と三角形の面積
3	14. 割合 ☆おぼえているかな？ 15. 帯グラフと円グラフ
	16. 変わり方調べ
	17. 正多角形と円周の長さ
	18. 角柱と円柱 ★考える力をのばそう ★5年のふくしゅう

〈授業の工夫〉	○基礎的・基本的な概念及び意味や性質などを生かしながら日常の事象や算数の学習場面から問題を見いだせるようにします。 ○操作活動を取り入れ、多様な考え方をもちあわせて主体的に問題解決学習に取り組めるようにします。 ○思考の援助として、具体物や数直線等の図や式などを活用し、問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、他者と伝え合うなど対話的に学べるようにします。
〈評価について〉	○基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確実に習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、学習したことを生活や学習に活用しているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとおり方やコンパス、定規の使い方、計算ドリルなどを基に評価します。
〈学習方法など〉	○倍数や約数、単位量あたりの大きさなど、理解の定着に時間のかかる分野は継続的に復習します。 ○比例や正多角形など日常の場面でも、算数で学んだことを基に活用します。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	物質・エネルギー ○物の溶け方, 振り子の運動, 電流がつくる磁力についての理解を図り, 観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○生命の連続性, 流れる水の働き, 気象現象の規則性についての理解を図り, 観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	物質・エネルギー ○物の溶け方, 振り子の運動, 電流がつくる磁力について追究する中で, 主に予想や仮説を基に, 解決の方法を発想する力を養う。 生命・地球 ○生命の連続性, 流れる水の働き, 気象現象の規則性について追究する中で, 主に予想や仮説を基に, 解決の方法を発想する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	物質・エネルギー ○物の溶け方, 振り子の運動, 電流がつくる磁力について追究する中で, 主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○生命の連続性, 流れる水の働き, 気象現象の規則性について追究する中で, 生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う

月	学 習 内 容
4	天気と情報①天気の変化
5	生命のつながり①植物の発芽と生長
6	生命のつながり②メダカのたんじょう
7	天気と情報②台風と防災
9	生命のつながり③植物の実や種のでき方
10	流れる水のはたらき
11	もののとけ方
12	ふりこの性質
1・2	電磁石の性質
3	生命のつながり④人のたんじょう

〈授業の工夫〉	○理科における資質・能力を育むために主体的に活動ができるようにします。 ○単に実験の結果を覚えるだけの活動とならないよう, 子供が主体的, 協働的, 対話的になる学習過程として, ①問題の見だし②見通しの発想③解決方法の発想④結果の整理⑤考察 と道筋に沿って学習を進めます。 ○「違いを見付ける」「既習事項と関係付ける」「問題や見通しと, 結果の一致, 不一致を判断する」といった学びの『すべ』を獲得していくことができるよう, 問題解決の過程を適切に指導します。 ○指導内容に応じて, タブレットや視聴覚機器を活用して指導します。
〈評価について〉	○单元ごとの評価テストと合わせて, ノート記述や観察シート, 実験レポート, 実験計画書などをもとに評価します。 ○条件を制御しながら調べる活動を通して, 予想や仮説を基に, 解決方法を発想し, 表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度, 生命を愛護する態度を評価します。また, 安全面に配慮して取り組んでいるかも評価します。
〈学習方法など〉	○学習の成果と日常生活との関連を図り, 自然の事物・現象について実感を伴って理解できるようにします。 ○テレビや新聞などで流れる自然や環境についての情報に関心をもたせ, 自然環境を大切に, 保全に寄与しようとする態度を育成します。そのために, 環境などに関する催し物や科学館などについても紹介します。 ○タブレットを活用し, 視覚的に学んでいきます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養

月	学 習 内 容
4	○歌声をひびかせて心をつなげよう こいのぼり すてきな一歩
5・6	○音の重なりを感じ取ろう 小さな約束 いつでもあの海は ♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章愛のあいさつ から□
7	○いろいろな音のひびきを味わおう リボンのおどり(ラ バンバ) ♪祝典序曲アフリカン シンフォニー□ 打楽器でリズムアンサンブル
9	○和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう 静かにねむれ こげよ マイケル (Micael row the boat ashore)
10	○曲想の変化を感じ取ろう 夢の世界を キリマンジャロ
11・12	○詩と音楽との関わりを味わおう 待ちぼうけ 赤とんぼ(参考曲) この道(参考曲)□ 冬げしき スキーの歌
1・2	○日本の音楽に親しもう 春の海 子もり歌 ソーラン節／かりぼし切り歌 音階の音で旋律づくり
3	○思いを表現に生かそう 威風堂々 卒業式の曲

〈授業の工夫〉	○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。また、タブレットPCを演奏手段の一つとして使用します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を主体的に伝え合う場を多く設定します。
〈評価について〉	○題材の表現や技能だけでなく、主体的に音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら主体的に取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。
〈学習方法など〉	○グループやペアでの活動を取り入れ、友だちの演奏を聴き合うことができるようにします。

令和6年度 第5学年(図工)年間学習計画

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 材料や用具を活用し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
【思考力・判断力・表現力等】	○形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】	○つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

月	学 習 内 容
4	感じたことを伝え合う オリエンテーション
5	心のもよう
6	形に命をふきこんで
7	あんなところがこんなところに
9	消してかく 糸のこすイスイ
10	切り分けた形から何つくる？ 美しく立つはり金
11	ふれて伝えるストーリー
12	水から発見 ここきれい！
1	言葉から思いを広げて
2	のぞいてみると
3	笑顔が生まれるしかけ

〈授業の工夫〉	○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。 ○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。
〈評価について〉	○一人一人の活動の様子や作品の制作過程を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように感想を書いたり自己評価を行ったりしていきます。
〈学習方法など〉	○道具や材料の活用や友達との学び合いを通して、自らの表現を深めることにつなげられるようにします。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

月	学 習 内 容
4	家庭科の学習—2年間を見通して—(ガイダンス)(1時間)
5	1. 私の生活、大発見！ 2. ゆでる調理でおいしさ発見 3. ひと針に心をこめて
6	4. 持続可能な社会へ 物やお金の使い方 教科書のページ□
7～9	5. 食べて元気！ご飯とみそ汁
11～12	6. 物を生かして住みやすく
12	7. 気持ちがつながる家族の時間
12～1	生活を変えるチャンス！ ①
1～3	8. ミシンにトライ！ 手作り楽しい生活

〈授業の工夫〉	○実践的・体験的な学習活動を取り入れ、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けていきます。 ○学校生活だけでなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫した行動ができるよう、学習内容を広げていきます。
〈評価について〉	○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価します。 ○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価します。 ○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力や人間性等は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価します。
〈学習方法など〉	○学習したことを家庭で生かしたり、調理や掃除などを家庭学習で取り組ませたりして、進んで家庭の仕事をする子供の育成をめざしていきます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組

月	学 習 内 容
4	体ほぐしの運動 短距離走・リレー
5	鉄棒運動
6	表現運動
7	水泳運動
9	ソフトバレーボール(ネット型)
10	激しく〇〇する運動 走り高跳び
11	保健・心の健康 ハードル走
12	マット運動 フラグフットボール(ゴール型)
1	保健・けがの防止 跳び箱運動
2	体の動きを高める運動 バスケットボール(ゴール型)
3	ソフトボール(ベース型)

〈授業の工夫〉	○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行います。 ○自分に適した課題をもつと同時に、友達と協力して課題解決に取り組めるような場面を設定し、共に学び合う授業づくりをします。 ○勝敗や競争(走)を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の
〈評価について〉	○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○学習カードを用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子も観察し、評価します。
〈学習方法など〉	○長なわ跳び月間、マラソン月間を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった練習方法や練習の場を選択することで課題解決に取り組めます。また、動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。

令和6年度 第5学年(道徳)年間学習計画

	年 間 学 習 目 標
目 標	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
第5学年及び第6学年重点目標	○相手の考え方や立場を理解して支え合い集団生活の充実に努めること ○法やさまりの意義を理解し、責任ある行動をとること ○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重す

月	学 習 内 容
4	道徳の時間とは 友情、信頼 正直、誠実 勤労、公共の精神
5	節度、節制 善悪の判断、自律、自由と責任 希望と勇気、努力と強い意志
6	公正、公平、社会正義 友情、信頼 規則の尊重 生命の尊さ
7	善悪の判断、自律、自由と責任 自然愛護
9	生命の尊さ よりよい学校生活、集団生活の充実 節度、節制 自然愛護
10	礼儀 家族愛、家庭生活の充実 国際理解、国際親善
11	希望と勇気、努力と強い意志 規則の尊重 相互理解、寛容 よりよく生きる喜び
12	親切、思いやり 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
1	感謝 親切、思いやり 個性の伸長
2	真理の探究 国際理解、国際親善 勤労、公共の精神 生命の尊さ
3	感動、畏敬の念 よりよい学校生活、集団生活の充実

〈授業の工夫〉	○道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合っていることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。
〈評価について〉	○道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ノートへの記述をもとに肯定的評価を
〈学習方法など〉	教科書とノートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	Unit1 Hello, everyone
5	Unit2 When is your birthday?
6	Unit3 What subjects do you like?
7	You can do it! 1
9	Unit4 He can run fast. She can do kendama.
10	Unit5 My hero is my brother.
11	Unit6 Where is the library?
12	You can do it! 2
1	Unit7 What would you like?
2	Unit8 This is my town.
3	Yes, you can.

〈授業の工夫〉	○音声でのコミュニケーションに使う英語表現に慣れ親しむことで目的や場面、状況に応じた英語表現を活用できる児童をめざします。 ○担任と英語指導アシスタントが協力し、主にコミュニケーション能力の育成をめざします。
〈評価について〉	○活動の様子や振り返りカードから聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかなどを評
〈学習方法など〉	○外国語では、積極的に発話することや読むこと、書くことで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を生活の中で活用する機会を多く設けます。